

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	11.22(月)	山直南	発言者A	<p>包近町会として、計画（案）の内容を回覧するとともに、町民アンケートを実施し、100件を超える多くの回答を得た。</p> <p>この計画（案）どおり進むと、山直南小学校が事実上廃校となる。そのことをどう考えるか、という項目について、72%の方が、山直南小学校を残すべきであると回答した。計画（案）どおり実施すべき、という回答は13%弱であった。</p> <p>小中一貫教育についてどう考えるか、という項目について、小中一貫教育が良い、とした回答は20%弱であり、必要ないとした回答が42%強、内容がわからない、説明が聞きたいという回答は27%強であった。</p> <p>以上のように、現時点では教育委員会の提案に対し否定的な意見が大多数という結果。意見を含めた詳細なアンケート結果については、教育委員会へ提出の上、別途回答を求めていきたい。</p>	<p>町会においてアンケート調査を実施していただき、感謝する。その中のご意見についても参考にしながら、より良い計画（案）の策定に向けて取り組んでいく。</p>
2	11.22(月)	山直南	発言者A	<p>山直南小学校が廃校になる計画（案）ということで、小学校区を基本的単位とする山直南連合町会がなくなることになる。</p> <p>市ホームページにある、計画（案）に関するQandAでも、小学校区がなくなると、地域コミュニティ活動に影響があることは理解するが、学校は何よりも子どもたちの教育の場ということが最優先であり、今回の計画はその考えに従った不可欠な取組である旨、コミュニティ活動への影響については、可能な限り地域の意見も踏まえ、市長部局と連携して検討し、引き続き活動を支援する旨の記載がある。</p> <p>小学校がなくなり、連合町会がなくなる前提として、現時点で市長部局とどのような協議をしているのか。</p>	<p>市民協議会や連合町会については、自治振興課が所管しており、計画（案）策定前の段階から、協議を行ってきた。</p> <p>仮に小学校が閉校になったとして、地域コミュニティの組織を、それに合わせてなくす、ということは考えていない。市民協議会や連合町会のあり方については、地域の皆様が主体的に判断していくことであり、その中で、行政側もサポートに努めていきたい。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
3	11.22(月)	山直南	発言者A	<p>包近町、山直中町、稲葉町、積川町は、明治22年に合併し、山直上村として発足した。その時点ですでに小学校はあったと思うが、それ以降、戦後岸和田市と合併して以降も、山直南地区として130年にわたり一体感を保ちながら存続してきた。</p> <p>一体感を保つバックボーンとして、歴史や地域性もあるが、何よりも同じ小学校に通ってきた、人的なつながりが非常に大きい。</p> <p>これを小学校が分割され、義務教育9年間で別々に育ってきた人間が、同じ山直南連合として活動できるかといえば、極めて難しいと思われる。地域の判断に任せると言われても、現在のあり方を維持することは不可能である。</p> <p>包近町の児童は（仮称）山直小学校に通学するとなっているが、大半が市街化区域である山直地区とは地域性が異なる。</p> <p>泉州山手線が延伸される中、沿線の三田町、岡山町は市街化調整区域だが、都市計画見直しも並行して進めると聞いている。聞くところによれば、都市計画見直しにより、三田町、岡山町はほぼ全域が市街化区域に変更される。一方で、包近町は市街化区域への変更予定がないとも伝え聞く。</p> <p>そうなれば、ますます山直地区と山直南地区の地域性、土地柄は異なってくるように思う。小学校区というものは、ある程度同じ地域性の子どもたちが通うことが望ましいと考えている。</p> <p>資料によれば、令和8年度の（仮称）山直小学校は児童数908人の見込みだが、そのうち包近町と山直中町の児童は70人、割合にして僅か8%弱。土地柄の違う地域で育った子どもたちが大多数の小学校に、僅かな、いわば田舎育ちの子どもたちが遠い距離を通学することは不自然だと思わざるを得ず、現案は単なる数合わせに見える。</p>	<p>現在、包近町と山直中町の児童は、山直中学校に進学し、稲葉町と積川町、岸の丘町の児童は、山滝中学校に進学しており、小学校で一緒に過ごした児童が、中学校進学時に2校に分かれている。このことは、教育委員会としても課題として捉えている。</p> <p>今回の実施計画（案）については、そうした現状、各学校の規模、配置バランス、通学距離、地域コミュニティ等を総合的に鑑みた結果、中学校区単位での再編が妥当ではないかと考え、策定したものである。</p>
4	11.22(月)	山直南	発言者A	<p>市長部局と連携して取り組んでいるとしているが、三田町、岡山町までが市街化、そこから南は市街化を抑制するという、都市計画部局のめざすまちづくりとは異なる考え方で、教育委員会が計画（案）を出している。どこを連携しているのか。</p>	<p>まちづくり関係部局との調整は、随時行っている。</p> <p>教育委員会としては、市街化区域及び市街化調整区域の範囲よりも、学校における一定の集団規模を確保するために、こういった形が望ましいのかということ、子どもたちの教育環境を最優先に考えながら、計画（案）を策定した。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
5	11.22(月)	山直南	発言者A	<p>計画（案）によれば、（仮称）山直小学校は令和8年度で23学級とあり、ゆくゆくは減少するとしているが、基本方針で示す小学校の適正規模を超えている。</p> <p>一方、（仮称）山滝小中一貫校の小学部については、令和8年度以降も6学級が続くとある。岸の丘町の住宅開発により、児童数の増加も見込まれるが、それがひと段落すれば、長期的な児童数は減少が見込まれていくということである。</p> <p>また、教育委員会は、1クラス10数人程度にまで小規模化が進むと、集団的な活動への影響や、対話的学び、大きな集団への適応性に関する課題が生じるとしている。</p> <p>それならば、包近町と山直中町を合わせて令和13年度で42人と見込まれる児童がいるのだから、それを（仮称）山滝小中一貫校に通学するというにすれば、長い期間にわたり、1クラスあたり一定の人数が確保された学校ができ、教育委員会の考える、適正規模により近い環境が末永く続くのではないかと思う。</p> <p>（仮称）山直小学校の大規模化抑制にもなる等、教育委員会の理想に近い形になると思うが、いかがか。</p>	<p>今回の実施計画（案）では、現在山直中学校へ進学している包近町と山直中町の児童については、小学校から（仮称）山直小学校へ通学するという内容を提示している。</p> <p>それに対して、例えば地域として、包近町と山直中町の児童が、小学校から（仮称）山滝小中一貫校へ通学する方が好ましいということであれば、地域・保護者の皆様と協議し、検討していきたい。</p>
6	11.22(月)	山直南	発言者B	<p>適正規模・適正配置という名目の計画となっているのに、この案でいけば、（仮称）山滝小中一貫校において小規模による課題が解消されない。資料にも、規模を確保できない旨記載している。課題の解消方法があいまいだと感じる。</p> <p>小学校統廃合の問題と、小中一貫校の問題は別として考えてほしい。単なる数合わせのために、一部地域だけ小中一貫校にしてしまおうという考えが見える。小中一貫校は、市として1校、モデル校を新たに建設し、成果を見極めた上で進めてほしい。和泉市もそのようにしている。</p> <p>小学校・中学校ともに適正規模・適正配置が達成できない、中学校では専任教員の配置もできないような計画（案）をどうして出すことになったのか、不思議でならない。</p>	<p>計画（案）における（仮称）山滝小中一貫校については、小学校部で6学級、中学校部で3学級と記載しているが、岸の丘町では開発が進み、約270世帯、1,000人規模のまちが完成すると伺っているため、今後は、現在記載している学級数から増加すると見込んでいる。</p> <p>一方、それでも12～18学級の適正規模に至ることは、難しいと見込んでいる。その対応の一つとして、現在東葛城小学校で取り組んでいる、特認校制度の導入を検討しており、市全域から小中一貫校を希望する児童生徒を募集することを考えている。</p> <p>なぜ、取組を実施しても適正規模に至らない計画（案）を示すのか、という点については、現状の各学校の規模、配置バランス、通学距離、地域コミュニティを総合的に鑑みの中で、中学校区を超える再編は好ましいものではないと判断したため、今回の計画（案）を策定したところ。</p>
7	11.22(月)	山直南	発言者B	<p>小中一貫校の問題は別として、小学校の統廃合を仮に実施するのであれば、この地域を中心にした統合が望ましいと思う。</p> <p>山直南小学校をつぶすということに納得がいかない。山滝小学校や東葛城小学校の方が規模が小さいのだから、山直南小学校の場所に統合すればよい。</p> <p>説明の中にもあったように、今後さらに児童数が増える要素もある。何も小さい学校地域に行くことはない。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
8	11.22(月)	山直南	発言者C	<p>「適正化」と「小中一貫校」を並べた計画だと捉えている。まず、適正化とはいったい何なのか。また、小中一貫校と適正化を同じ計画の中で考えるべきかどうか、という点に疑問を感じる。</p> <p>取組のメリットは理解するが、デメリット、マイナス面も多いと思う。例えば150年の歴史を持つ小学校をなくしていいのかどうか。我々からずっと上の世代の方から、今子どもを通学させている保護者の方々、特に最近感じるのは、この学校を卒業した保護者が、我が子をこの学校へ通わせたいと、帰ってくるのが非常に多い。</p> <p>この学校の良さとして、ある校長先生は全児童の名前を覚えており、山滝中学校でも然り。確かに小さな学校ではあるが、他市で教員として働いていたときでも、山滝中学校は岸和田以南でトップクラスの学力だと聞いていた。現在岸和田市全体の学力は随分下の方だとあったが、地域性があるので、平均すればそうなるのだと思う。</p> <p>学校教育、家庭教育、社会教育だけでなく、行き帰りの見守り隊とのコミュニケーションもあり、非常に良い校区だと思う。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>
9	11.22(月)	山直南	発言者C	<p>（仮称）山滝小中一貫校は、各学年1クラスの小中一貫校ということに加えて、認定こども園を併設ということだが、大きな学年差が生まれる。</p> <p>現在山滝中学校では、屋外の運動部が少ないが、放課後、中学生が部活動をしている中、小学生が遊ぶ場所はないと思う。時間帯の差はあると思うが、そこに認定こども園の園児の帰宅時間が重なれば、非常に危険だと思う。どのように考えているのか。</p>	<p>現在の計画（案）では、（仮称）山滝小中一貫校に認定こども園も併設するとしており、山滝中学校の敷地の中で、建物の高層化や、小・中学校間で運動場を使う時間、場所を区切るという対応を検討している。</p> <p>一方、現時点で計画（案）に記載していないが、山滝中学校の向かいに位置する山滝プールについて、夏の酷暑による利用率減少や、老朽化、授業実施が天候に左右されるといった課題がある中、社会体育施設のあり方についても検討しており、プールや、閉校となった場合の山滝小学校跡地についても、今後条件が整えば、活用を検討したい。</p>
10	11.22(月)	山直南	発言者C	<p>スクールバスの導入を検討しているようだが、最近関連の事故がよく起こっている。</p> <p>また、見守り隊の方々との交流もなくなってしまう。家庭や学校だけでなく、地域に住むおじいちゃんやおばあちゃんとの交流も大切。バス通学が本当に望ましいことなのか。</p>	<p>仮にこの計画（案）が進むと、現在山直南小学校に通学している児童が、さらに遠い距離を通学しなければならないことになる。教育委員会として、子どもたちの安心安全を確保できないまま取組を進めていくことは考えておらず、安心安全の確保を最優先に、各地域との均衡にも配慮しながら、スクールバスの導入を検討していく。</p> <p>国では、小学生で4km以内、中学生で6km以内の通学距離を目安として示しているが、現在の岸和田市内では、路線バスで通学している一部地域を除くと、おおよその児童生徒が2km圏内から通学している。</p> <p>国の基準だけでなく、道路状況や交通事情を鑑みつつ、地域や保護者の皆様とスクールバス導入についての話し合いを重ねていきたい。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
11	11.22(月)	山直南	発言者D	<p>親子4代で、山直南小学校へ通ってきた。</p> <p>包近町・山直中町が山直北校区へ行き、稲葉町・積川町が山滝校区へ行くということではなしに、包近町・山直中町・稲葉町・積川町を山直南小学校区に置いたまま、山滝中学校や山滝小学校、山直南小学校という名前でもなく、ゆめみヶ丘小中一貫校という形で整備することは考えていないのか。</p> <p>本日来ている職員が、教育委員会に勤めて何年になるかはわからないが、150年の歴史がある山直南小学校をなくすということは、この地域の住民はまったく考えていない。教育委員会が何を言おうと、皆が反対。</p> <p>説明を聞いていても、数字で表していることが正確なのかどうか。「そうであろう」ということでないのか。</p> <p>ゆめみヶ丘の新興住宅が約270軒あり、1世帯あたり2人子どもがいると仮定すれば、約500人の子どもが増える。少子化の中、子どもが1人の家庭があっても、一方で3、4人という家庭もある。そのあたりのことを考えるべき。</p> <p>次回、11月28日にも説明会があるらしいが、いくら説明を受けても、この地域から学校をなくすことは到底考えていない。ここに統合校を設置すればよい。どうして多いところが少ないところへ行かなければいけないのか。</p> <p>過去、大沢町に山滝小学校分校があったが、その後、皆がバスで山滝小学校へ通うことになった。なぜかといえば、児童数が減ったから多いところへ行くと。それならば、やはりこの地域に小中一貫校を設置すべき。小中一貫校自体に反対しているわけではない。</p> <p>また、山直南小学校の付近には土地が多くある一方、山滝中学校は狭いということについてもよく考え、再検討願う。</p>	<p>ゆめみヶ丘において、約270世帯、1,000人規模のまちが完成するということは承知している。</p> <p>本日お示した、令和3年度作成の児童数推計は、令和2年度に生まれた赤ちゃんが小学校へ入学する令和9年度までは、地域に住む子どもの実数から算出しており、令和10年度以降は、地域における出生率を掛け合わせながら算出しているもの。</p> <p>現状では、ゆめみヶ丘における最終的な世帯数、おおよその人口のみ把握しているが、今後、より多くの子どもが生まれる可能性もある。一方、現時点でこちらから提示できる推計としては、今回お示したものとなる。</p> <p>なお、山直南小学校が、非常に歴史が深い学校だということは認識している。今回の計画（案）をお示しする中で、地域の皆様が反対することは理解するが、子どもたちの教育を考えたときに、市内の小学校を小規模のまま置いておくとすれば、今後ますます小規模化が進んでしまう。現段階から、適正規模・適正配置の取組に着手することが必要だと考えている。</p>
12	11.22(月)	山直南	発言者E	<p>資料の中に、牛滝の谷地域とあるが、どこからどこなのか。</p>	<p>岸和田市の最上位計画である総合計画や、都市計画マスタープランで、市域を6つの地域に分けており、その中にある牛滝の谷地域は、山直南校区を含む、山滝中学校区、山直中学校区をさす。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
13	11.22(月)	山直南	発言者E	<p>稲葉町は、稲葉城の城下町であった。山直地区は今木町のあたりまで広がり、非常に広がったため、山直上地区と山直下地区で分けられた。山直上地区は山直南小学校、山直下地区は山直北小学校となっている。包近町と山直中町は、当初は久米田中学校へ通学しており、山直中学校創立によって山直中学校へ通学する、という変遷であった。</p> <p>岸和田市は来年度で100周年と聞く。山直南小学校は150年の歴史があり、市より歴史が深い。それが、廃校になるという。山直南校区の稲葉・積川・岸の丘・山直中・包近町もバラバラになる。そんな場所に住もうと思うか。校区というものは、重要な人間形成の場である。学校だけではない。</p> <p>少子高齢化が課題だということはわかっている。しかし、市は何を努力してきたのか。人口も毎月減っている。子どもを増やすようなまちづくりが必要。浜中央校区は都市中核地域、八木地区は久米田地域、ここは牛滝の谷地域などと勝手に名付けていることにも不満。</p> <p>岸の丘町は1,000人規模のまちになり、最終的に子どもの数は500人になる。山直南校区は交通網も良く、人口が増える。そんなまちをつぶすのか。多くの工場も誘致できている。岸和田一番の商業都市である。行政として、もっと市を発展させなければならぬ。都市中核地域とされる地域もこれまで発展させられておらず、商店街周辺は南海岸和田駅の駅舎が変わっただけ。なのに、これから発展しようとする山直南地域をつぶすとは何事か。</p> <p>岸の丘町の通学区域を決めたのはたった3年前。これから住宅販売を進めていこうとする中、この計画（案）を出すことにより風評被害が発生している。無電柱化を推進し、全国にないまちづくりを進め、子どもや人口を増やすことを考えているのに。</p> <p>計画地の山直中学校は狭く、野球もサッカーもできない。</p> <p>地域の実態をよく勉強すべき。説明しましたので次に進みます、ということでは困る。</p> <p>行政は何十年も先を読んで取り組むことが求められるのに、先を読まずにこのような計画（案）を出すのはおかしい。</p>	<p>地域の皆様が、地域と、山直南小学校を大切に思うが故の、心からの声だと思う。ご意見感謝する。</p> <p>教育委員会として、将来展望や目的もなしに、ということではなく、本日説明したような考え方のもと、取組を進めようとしているところ。</p> <p>今回の説明会を開催したので終わりだ、ということではなく、本日いただいたものも含め、それぞれのご意見について受け止めた上で、これから協議を重ね、より良い方向性を見出していきたい。</p>
14	11.22(月)	山直南	発言者E	<p>今後話し合いをするのであれば、山直南小学校を基本として、小中一貫校を設置する案も出すべき。ここは土地がまだある。</p> <p>山直南中学校の周辺には土地がない。小中一貫校を設置するにあたり、それなりの面積も必要ではないか。児童数が少ない学校に、児童数がこれから増えてくる地域の子どものがなぜ行かなければならないのか。</p> <p>一つの町が新設されたのは行徳町以来、何十年以上ぶり。これからは、山手地域を開発し、岸和田市を繁栄させ、児童生徒数も増やしていかなければならない。現状維持では人口減少が止まらない。それを食い止めるためにどういう形で進めるのか、前向きに考えるべき。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>
15	11.22(月)	山直南	発言者F	<p>以前、稲葉町から要望書及び署名を提出しているのだから、それに対して案を持っていくべきだった。もう10ヶ月経過する。</p>	<p>実施計画（案）を策定して以降、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、地域説明会の延期が続いていたが、その間に要望書をいただいている。要望書の内容についても、確認している。</p> <p>今回は、実施計画（案）の内容を、地域に説明できていなかったため、改めて関係校区に対して説明に回っているということでご理解いただきたい。その中で、本日のご意見も含め、いただいたご意見やご要望について、今後考えていきたい。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
16	11.22(月)	山直南	発言者G	<p>なぜ山滝中学校に行く案なのか。</p> <p>自分が通っていた、一番生徒数が多い時期でも、学年2クラス。全体で6クラス。山直南小学校では学年3クラスで、全体18クラスだった。</p> <p>中学校に進学するとクラス数が減ることもあり、運動場を含めて学校が狭い。そこに小学生も押し込むということに、子どもの視点からも納得がいかない。</p> <p>統廃合を推進することはわかるが、子どもにとって魅力のある近代的な設備の新しい学校をつくるような案や、包近町と山直中町も合わせて一緒に学校へ行く案など、少し考えただけでもいくつか出てくるのに、山滝中学校一択で説明会に臨むことが不思議。本来は、いくつかの案を持った状態で、地域からも様々な意見をもらいながら決めていくことが望ましいのではないか。</p>	<p>各学校の規模、配置バランス、通学区域等を総合的に勘案し、策定した計画（案）ではあるが、これに反対する意見もあることは、当然のことだと思う。</p> <p>本日ご提案いただいたような案も踏まえながら、意見交換していきたいと考えている。</p>
17	11.22(月)	山直南	発言者H	<p>岸の丘町の通学区域が山直南小学校及び山滝中学校ということに決まってから、この計画（案）が出てきたのだが、策定にあたって状況をどこに聞きに行ったのか。まちづくり協議会としては聞いていない。</p> <p>自分たちの都合で決めた案だろう。子どものことも、地域のことも考えていない。本来ならば、地域の町会等へ話をしてから案を策定するものではないのか。</p>	<p>経緯について説明すると、令和2年3月に岸和田市立小中学校の適正規模・適正配置基本方針を策定し、7月には市内8か所で説明会を実施した。そこでいただいたご意見等を踏まえつつ、総合的に判断した結果、今回の実施計画（案）を策定している。</p> <p>教育委員会として、市内の小・中学生が、一定の集団規模の中で公教育を受けるにあたり、こういった形が望ましいのか、ということ協議した上で策定した計画（案）であり、市民や保護者の意見が反映されていないものとは考えていないが、この計画（案）に対し、それぞれの地域から様々なご意見をいただくことも当然想定しているので、それらも参考にしながら、引き続き、協議を重ねていきたい。</p> <p>実施計画（案）を策定する前に、各地域を回るべきであったというご意見もあるが、各自治体でこうした取組を進めるにあたっては、その多くが、本市のように「計画の案」を策定してから地域との協議に臨んでいる。</p> <p>事前に各地域のご意見を伺うとすれば、地域ごとに考え方も異なる中、すべてを包含した計画（案）を策定することは非常に難しいことから、現状の進め方を選択している。</p>
18	11.22(月)	山直南	発言者H	<p>前段の市民説明会は、市民センターで開催したのだろうか、山直南校区では開催したか。</p>	<p>基本方針は特定の地域だけでなく、市域全体に関する内容であるため、福祉総合センター及び市民センター等、計6か所で開催した。</p> <p>さらに、対象となる規模の学校が複数存在する中学校区として、山滝中学校と葛城中学校でも開催した。</p>
19	11.22(月)	山直南	発言者I	<p>山滝中学校で開催して、山直南校区で開催しなかったことが理解しがたい。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>
20	11.22(月)	山直南	発言者J	<p>文句を言われたい校区で開催したのではないか。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>
21	11.22(月)	山直南	発言者D	<p>これでは明日の朝まで話してもまとまらない。10回20回と重ねて話し合う必要があるのでは。2、3回ではどうしようもない。</p>	<p>本日と28日の説明会だけですべて決定するようなつもりはないので、ご理解願う。</p>
22	11.22(月)	山直南	発言者K	<p>中学校区を単位にするという前提も考え直すべき。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
23	11.22(月)	山直南	発言者L	<p>この計画の根拠を聞くと、子どもの数が減って学校規模が小さくなると、子どもの教育に良くないということと言われるが、それは真実なのか。</p> <p>元々市内の中でも子どもが少ない地域であるが、そこで育った子どもたちが、質が悪いとか、社会性がないとか、それは真実と異なる。ここがそもそもの間違い。</p> <p>全国的には小規模校や少人数学級で学力が向上した事例も挙げられる。取組の良い部分しか言わないのは、詐欺商法と一緒。必ずデメリットもあるはず。</p> <p>仮にそうだとすると、それならば魅力ある学校や魅力ある地域をつくっていくことが必要であって、子どもの数が減ったから学校を減らすというのは、要は予算がないからだろう。予算がないのであれば、その中でも、岸和田市の将来を担う子どもたちに予算をつけていくのが本来の考え方だと思う。これは意見。</p>	【ご意見として承る】
24	11.22(月)	山直南	発言者L	<p>丁寧な説明と話し合い、と記載があるが、住民の合意を得るといふ文言がない。反対を受けても、最終的には予定どおり進めるといふ考えが見えている。</p> <p>地域のコミュニティと行政が一緒になってまちづくりが進んできている中、普通は住民の合意、納得というものが必要だと思うが、それに関する記載がないのはなぜか。</p>	<p>丁寧な説明と話し合いを今後行っていくが、例えば地域や保護者の皆様が反対している中、それを無視して一方的に進めていく考えはまったくない。</p> <p>本日、非常に厳しい声を受ける中で、ショックもあるが、今回の計画（案）はあくまでもたたき台。それをもとに、皆様の考え方を聞かせていただいたこの機会は、本当に必要なものだと思う。</p> <p>最終的にどうしていくのか、という点について、まずは率直に意見交換を行い、教育委員会の考え方もより詳しくお伝えし、皆様のご意見もさらに伺いながら、最終的に合意に至れば、その方向で進めていく。</p> <p>全住民、全市民の合意であれば、市長や市議会も、その方向で考えていくことになる。逆に、一部の住民によるご意見であれば、大勢の住民のことを考えて判断されることになる。誰に合意を得て、ということは難しい問題だが、本日をきっかけに、十分な議論を重ねていきたい。</p>
25	11.22(月)	山直南	発言者H	<p>地域の意見を聞いた上で、回答がほしい。そのときには、教育長だけでなく、市のトップである市長も連れてきてほしい。</p>	<p>今回の説明会は、あくまでも計画（案）策定段階の内容を、まずは皆様に広く知っていただくためのものであるため、これを以て協議を終えることは当然考えていない。</p> <p>11月28日にも同じ説明会を開催するが、その際には、本日もいただいたご意見に対する回答をするのではなく、初めて内容を聞かれる方もいるため、本日と同様の説明を行う。</p> <p>市内で20回開催予定の説明会を終えた段階で、皆様と協議をさせていただきたいと考えている。その際には、疑問点への回答を行い、逆に新たにご指摘をいただく等、キャッチボールをしながら進めていきたい。</p>
26	11.22(月)	山直南	発言者H	<p>ではそのときに市長も連れてきてほしい。</p>	<p>まずは、教育委員会として伺わせていただく。最終判断の段階で、市長が必要ということであれば、検討する。</p>
27	11.22(月)	山直南	発言者H	<p>必要だと思うので、連れてきてほしい。</p>	<p>その旨伝達する。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
28	11.22(月)	山直南	発言者M	<p>山直南小学校は明治6年、稲葉町の神社から発足した。この学校を他所へ移すということに対して納得いかない。</p> <p>昭和44年、包近町から山手は市街化調整区域となり、20年で解除するとしていたのに、解除されていない。地元出身の長男次男が1軒の家しか建てられない。他町から来る人も、住宅を建てられず、人口が減っていくのは当然のこと。最近は少し緩和されたものの、この根本が変わらない限り、人口、子どもの数を増やすことはできない。</p> <p>城東小学校や天神山小学校は、以前の開発で人口が増えて開設された学校で、現在は廃校予定とあるが、住民は他地域から移ってきた人。山直南校区は異なる。</p> <p>山直南小学校の廃校には反対の意志を貫くつもり。現在の山直南小学校の場所に、新たに小中一貫校を新設願う。開発にかかる案件のため、教育委員会だけでなく、市の心臓部や、地元議員とも話し合う必要があるが。</p>	【ご意見として承る】
29	11.22(月)	山直南	発言者N	<p>今日来ている教育委員会の方々は、教育者、所謂教員なのか。</p>	<p>教育総務部と学校教育部で出席しているが、前者は教員ではなく、後者は教員として現場での指導を経て、現在教育委員会に所属している。</p>
30	11.22(月)	山直南	発言者N	<p>計画（案）策定に際して、現場の教員の声も聞いているのか。</p>	<p>適正規模・適正配置の基本方針を定めるにあたり、どの程度の学校規模が望ましい規模か、という点について、教職員に対しても、事前にアンケート調査を実施している。その中では、現在も基本方針に示している、12～18学級が望ましいとする回答が大半であった。</p>
31	11.22(月)	山直南	発言者N	<p>児童数推計について、例えば令和4年度は今年度より2名減少ということで、恐らく実数から拾っているのだと思うが、上振れすることは想定していないのか。</p>	<p>今後、山直南校区に転入してくる児童生徒数によっては、上振れの可能性はある。なお、令和9年度までは、令和2年度時点で実在する子どもの実数から算出した推計値となる。</p>
32	11.22(月)	山直南	発言者N	<p>来年、子どもが小学1年生になるのだが、噂では学年あたり60人程度の人数が見込まれると聞く。その中で、2名減少ということは考えにくい。こういったことが6年続くとなれば、推計値を精査した上で、山直南小学校を現状で維持してもよいのでは。</p>	<p>推計値の精査について、今後も継続していく。なお、本日お示ししている推計値では、今後岸の丘町に転入する児童数は含まれていないものとなっている。</p>
33	11.22(月)	山直南	発言者O	<p>岸の丘町で今後生まれる赤ちゃんの人数は、従来の山直南校区で生まれる赤ちゃんの人数より数倍多いことが見込まれている。そういった中で、岸の丘町では現在も人口が増え続けている。そのあたり見込んでいくべき。</p>	<p>岸の丘町における今後の人口増加については、継続的に確認していく。現時点では、約270世帯、1,000人規模のまちが完成することで、小学生であれば100人強が増加する可能性を見込んでいるが、今後も随時把握に努めていく。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
34	11.22(月)	山直南	発言者O	<p>今日の説明を聞いて思うのは、少人数が悪だと言っているように聞こえるということ。我々は小規模な学校で育ってきたが、我々そのものを否定されているように感じる。</p>	<p>説明内容が、そのように捉えられたことはお詫びする。小規模校は小規模校としてのメリットも当然存在し、小規模校を卒業した児童生徒も社会で活躍されている。</p> <p>一方、国においては、適正規模・適正配置に関する手引きを策定するにあたっては審議会を設け、様々な議論を重ねてきている。その中では、12～18学級が望ましいという目安が示されている。</p> <p>国の手引きに従うだけでなく、岸和田市においても、学識経験者やPTA代表、民児協代表といったメンバーでの審議会を設置し、議論を行った。その審議会答申や、アンケート調査にて、12～18学級が望ましいという回答が多数であったことを踏まえ、適正規模の考え方をお示ししている。</p>
35	11.22(月)	山直南	発言者P	<p>山直中町会役員として、事前に説明を受け、その後自分でも勉強してきた。</p> <p>中1ギャップについての話があったが、国立教育政策研究所が発出した資料の中で、中1ギャップによる不登校とされる生徒のうち、75～80%は、小学3～6年生の時点で既に不登校であったという調査が出ている。</p> <p>小学3～6年生の間に、学校教育でしっかりと手当てすれば、そういった課題も解消されるとされているため、小中一貫で中1ギャップが解消されるということは、間違っているのではないかと思う。</p> <p>現に山直南小学校、山滝小学校、山直北小学校で、中1ギャップに当てはまる子どもはどれくらいいたのか、といった調査の中で、課題が解消されるという内容であれば理解するが、小規模校で育った子どもたちは細かな教育を受けている中、果たして山直南小学校で育った子どもたちに、中1ギャップがどれほど当てはまるのが疑問。</p> <p>メリットばかりを述べることは、情報操作だと感じる。小中一貫校となれば、休憩時間のグラウンドの取り合いといった課題もあり、現状の小学校では中学年、高学年となる中で、低学年への労り、年長者としての責任といったものが育まれるメリットもある。小中一貫によるメリットだけでなく、デメリットも説明すべき。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>
36	11.22(月)	山直南	発言者P	<p>適正化に関しても、全国では48%の学校が、小規模校に当てはまるという調査も出ている。その中で、なぜ山直南小学校の適正化をしなければならぬのかと疑問に思う。</p> <p>山直南小学校がなくなれば、この地域は子育てができない地域と見なされる。そんな計画（案）を出されたことにより、ますます地域から子どもが減り、地域衰退、崩壊につながる。</p> <p>今は見守り隊の方々や、警察官も校門前で見守り活動を実施してくれている。それにより地域の治安も保たれているが、それがなくなることで、治安の悪化にもつながる。</p>	<p>【ご意見として承る】</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
37	11.22(月)	山直南	発言者P	先日教育長と話をした際に、結局は財政難が原因だと話していたように記憶している。和泉市の新庁舎が65億円、貝塚市の新庁舎が51億円、一方で廃案になったものの、岸和田市の新庁舎は120～130億円かかると。そんなお金があるならば、教育に回せばよい。財政難だと言いながら、立派な庁舎でふんぞり返り、子どもたちは遠い距離を通学しなければならないというのは、やっていることがおかしいという話もした。それらについて市長に報告するという話であったが。	責任を持って回答するが、本件について、岸和田市が財政難だから改革をする、といったことを述べた事実はない。その場では、財政状況について尋ねられたので、市の財政状況を説明した。 庁舎についての話をいただいたのは事実で、ご指摘を受けたことについては、既に市長へ伝達している。
38	11.22(月)	山直南	発言者P	言った言わないの話はこれ以上しないが、山直中町会としても、それ以降議論をしてきた。その中で、承諾できる計画（案）ではないということ、役員全員が反対であるということなどで一致した。 以来、署名活動を行い、1,158名の署名をいただいたので、町会長から教育長へお渡しさせていただく。	【署名を受け取る】
39	11.22(月)	山直南	発言者Q	最初から、まとまる話とは思えなかったため、一旦持ち帰り、廃案にさせていただきたい。 この小学校は、色々な意味で地域で活用している中、なくなれると困る。なくしたくないという想いが強い。 今日の説明では、避難所としての学校がなくなった際の対応や、跡地活用に関する内容もなかった。 学校を適正化してまとめていくのではなく、市全体として、人を増やし、今あるものを活用していけるように考えてほしい。 山直南小学校になくなってほしくないが、だからといって、他の学校をこの場所に持ってきてくれればよいというだけの話でもないので、別の方向性で考えるべき。	【ご意見として承る】